

清田 満作



主要施策・方針の実践を

質問 施策を推進するうえで、合併協議会の確認項目に、課題は生じないか。

答弁 市長 尊重すべき基本的項目として、実現達成に努めます。

質問 産業振興・福祉施策推進の骨子、具体例は。



地域を見守る防犯パトロール車

答弁 市長

共同店舗などの集積を進め、まちづくり・高齢者社会に適した商業ゾーン形成に支援をしていきたい。また、高齢者が住み慣れた地域・家庭に近い環境での質の高い介護サービスの整備に努めます。

教育振興策・環境整備

質問 義務教育費国庫負担制度について。

答弁 教育長 制度見直しは、教育の機会均等の原則を揺るがしかねない。堅持を要望したいと思えます。

質問

国体は、学校・地域社会・行政の連携の中、能動的に取り組むべきだが。

答弁 教育長 スポーツ振興と青少年健全育成を図っていきます。

質問

子どもの安全対策は、社会のあり方を見つめ直し、継続的に関わっていく必要

があるが。

答弁 教育長

教職員の危機管理意識を高め、地域・各機関と連携を深め、安全指導の徹底と実践的安全教育に取り組んでいます。

質問

「のつはる少年自然の家」などの利用拡大は。

答弁 教育長 児童・生徒の健全育成の場として、市内全域からの利用ができるよう今後も大分市にお願いしていきたい。

羽田野 昭二



今後の農業振興策は

質問

耕畜連携および畜産農家のコスト低減に向けた、堆

肥センター施設設置の今後の取り組みは。

答弁 産業経済部長

家畜排泄物の堆肥化と有効活用は、畜産業の維持拡大、生産コスト削減、地域農産物の生産販売促進および地域活性化などの経済効果が期待できます。堆肥などを活用した有機栽培農法の確立を推進し、耕種部門で安心・安全な産物を消費者に供給できる体制づくりの堆肥センター構想の推進を行う必要があります。

質問

お茶産地の拡大は、生産者に対する経営技術指導と販売体制の確立が必要であるが、今後の振興策は。

答弁 産業経済部長

振興作物として、豊後大野茶のブランド確立と生産者の所得向上に向け、関係機関と連携し、推進します。

質問

農業用施設（ハウス施設）の災害対策について伺う。

答弁 産業経済部長

災害に強い強化型ハウス

を推進し、災害未然防止のため、対応・指導していきます。

老健施設のゆくえ

質問

介護老人保健施設設置の進捗と今後の取り組みは。

答弁 保健福祉部長

施設の割当数は、70床であり、現行と合わせ318床となります。今後、関係機関との協議

がつき次第、関係事業者へ配分を行う予定です。



茶栽培を行っている大原地区（大野町）